



付知中のミッション
○社会に通用する人づくり

中津川市立付知中学校
学校だより
令和5年2月1日

学校評価をうけて ～来年度の教育課程にむけて～ 校長 工藤博也

学校評価へのご記入・ご協力をいただきありがとうございました。現在集計を終え、R4年度の教育課程に今回の評価が生きるよう、改善点を明らかにし、検討しているところです。学校評価の結果について、学校経営の重点の視点からいくつか記載します。なお、生徒評価、保護者評価については後日全項目 HP に掲載します。併せてご覧ください。

(※ 4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない)

◆「居場所と絆」のある安心・安全な学校作り (数値は%)

	質問	4	3	2	1	平均値
生徒	1. 楽しく学校へ登校できている	41.7	33.3	16.7	8.3	3.09
生徒	2. 先生は自分の良いところを認めてくれている	33.3	53.7	9.3	3.7	3.18
保護者	3. お子さんは楽しく学校へ登校していますか	35.9	48.7	9.0	6.4	3.14

今年度、「楽しく登校できている」の目標を3.5Pとしていましたが、残念ながら「楽しくない」と回答した生徒が複数名いました。コロナ禍の影響はこれからも懸念されるところです。そうした状況だからこそ、学校が楽しくなるため、教師が生徒のよさを認めていくことを学校経営の重点として取り組んできました。行事だけでなく、まずは授業を中心とした日常生活を充実させるよう取り組んでいきます。学校だけでは解決が難しい問題もありますが、「生徒の言葉と気持ちに耳を傾け、迅速に対応する」を基本に、今後も一人一人の生徒を大切に、生徒と向き合います。お子さんの気になる様子がありましたらご連絡ください。

◆個の高まりを実感できる授業づくり (数値は%)

	質問	4	3	2	1	平均値
生徒	「学習のきまり」等を意識して仲間を大切にしたら授業ができた	47.2	45.4	5.6	1.8	3.40
保護者	学校は、お子さんに分かりやすい、学力をつける授業をしていますか	23.4	66.2	9.1	1.3	3.12

本校では、「課題を見つけ、仲間と協働しながら課題を解決する」授業改善に取り組んでいます。その中で仲間と交流する時間を確保し、学習内容を深めながら、定着を図っています。また、職員の指導力向上のために、研究授業を実施したり、職員同士が日常的に協力し、教材研究に取り組んだりして、研修を実施してきましたが、まだ十分ではないと感じています。本年度は、クロムブックを活用し、考えを共有するといった取組も4月当初から率先して取り組んでいます。今後、一人一人の生徒が個々の力を伸ばすことができるように取り組んでいきます。



◆規律と温かいつながりのある生活づくり (数値は%)

	質問	4	3	2	1	平均値
生徒	仲間の存在や考えを大切に生活や学習ができた	57.4	37.0	3.7	1.9	3.51
保護者	学校は、活動や行事を通して、仲間の絆を強くする指導を効果的に行っていますか	46.1	44.7	7.9	1.3	3.36

「よりよいひとりだち」が中津川市の方針に掲げられていますが、お子さんのひとり立ちには、集団に適応していく力が重要になります。それは、集団の中で切磋琢磨することを通して、自己理解・他者理解を深め、よりよい判断をしていくという経験を積むことが大事になってきます。自分の思いがあっても相手に合わせることを優先するなど、真に相手のことを考えてよりよい判断をすることには課題が残っています。課題解決に生徒自身の力で歩み出せるよう「見守る・声をかける・支える」を大切にお子さんに向き合います。

自由記述の欄には、貴重なご意見をご記入いただきました。ありがとうございます。そのご意見、全てにご返答すべきですが、代表的なご意見に学校の考えを書かせていただきます。

【いじめ指導について】

○友だちとの関わりやクラブでの悩みなどなかなか言えない。先生にも相談できない。

悩みがあっても自分で何とかしようと考え、なかなか相談できないのが思春期の特性でもあります。学校ではまず、登校時から表情や様子を見届けたり、月に1回実施する心のアンケートで気になる記述や回答に注視したりして、相談のきっかけづくりに心がけています。直接相談しにくいことについては毎週定期的に来校するスクールカウンセラーに話を聞いてもらうこともできます。本人、保護者の申し出により時間を調整し、実施します。また、公的な相談窓口もアナウンスしています。いずれにしても、困った時に先生に相談するという関係づくりに努めて参ります。

【学校評価のありかたについて】

○配布物を見るだけで、実際どう指導しているか保護者はわからない。

○項目によっては判断しにくいものがあり、「分からない」を追加してほしい。

ご指摘の通り、コロナの影響により、授業参観も実施されない中、評価の基準が不明確だったと思います。特に9番から12番は判断材料に困られたと思います。「よくわからない」という項目を設けることも考えましたが、このような状況だからこそ、ぜひお子さんとの会話を活発にさせていただきたいと考えて、通常通りのアンケートとしました。ただし、各質問にコメント欄を設けてほしいというご意見がありましたので、参考にさせていただきます。また、引き続き学校報やHPを通じて学校の様子を伝えるよう努めて参ります。

□「一行詩」(各学年校長賞)・・・残りの2ヶ月への決意を感じる作品□□□□□□□□□□

今年度第5回目の一行詩に取り組みました。「1年間をやりきる自分よ！」をテーマに、なりたい自分を表現しました。校長賞には以下の4名を選びました。4人とも日常生活の大切さを念頭に、残りの2ヶ月の意味をかみしめて、絶対にやりきるという気持ちがこもった作品でした。

○先輩としての自覚をもち、日常生活や授業を見直し、お手本になれるようにする

【1年 早川 大翔さん】

○三年生に向けて 日常生活を大切にし 基礎を造る

【2年 熊崎 真子さん】

○今までやってきたことを続け、結果を出す

【3年 新川 将悟さん】

○いい加減にスイッチを入れる

【3年 岡本 真旺さん】

「卒業証書授与式について」2月1日現在(案) *正式な案内は後日配布します

【会場について】

昨年度に続いて卒業式はアートピアで実施します。式後学活も公民館で実施します。

【参加者等について】

下記のように卒業証書授与式を行います。(※については当日の感染状況や会場のガイドライン変更によって対応が変わります。)

1. 感染対策のため参加者の制限を行います。

① 保護者の方は、生徒一人につき2名まで参加可とする。

② *在校生は、現時点で全員参加(*在校生の合唱は行わず、代表の送辞のみ実施する。感染状況によって2年生のみ参加または在校生不参加とする。)

③ 来賓は告示を述べる*教育委員会代表1名および、PTA会長のみとする。

2. *卒業生合唱は、閉式後、ステージ上で間隔を取り、マスク着用で実施する。(※感染状況や会場のガイドライン変更によって会場内での合唱不可となった場合、アートピアの外で合唱を実施)

3. *式後学級活動の保護者参観は生徒一人につき2名まで参加可とする。学活終了後、短時間の写真撮影は可とする。